

<第2議案>

2011年度収支決算(案)

8～9ページの2011年度収支計算書(自2011年1月1日 至2011年12月31日)と貸借対照表(2011年12月31日現在)をもって、2011年度収支決算とする。

<説明>

2011年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

11年は、常勤スタッフ2人体制を前提に、当年度収支差額13万円の赤字を見込んでいたが、常勤1人体制となり、結果としては約188万円の収支黒字となった(予算比で約163万円の収入減、約364万円の支出減)。全体としては、ピースデポ財政の基盤である会費収入が予算を下回るなか、予算を超える委託業務収入や経費削減の努力による支出減等によって財政状況が黒字で維持される形になった。

ピースデポ財政の実態を見やすくするために、将来計画資金は繰越金に含まず、別枠に示した。また、2011年における2010年度(10年7月～11年3月)及び2011年度(11年8月～12年3月)宜野湾市調査委託契約にかかわる収入、支出についても別枠で示した。

以上を勘案すると、2012年度予算への繰越金は、貸借対照表上では約1098万円であるが、表の決算欄の「次年度繰越金」に計上されている約300万円である。

2. 会費収入について

会員・購読者の正味増40口を目標としたが、退会者が相次ぎ、達成できなかった。未納会費・購読料の回収努力は一定の成果をあげたものの、会費収入全体で予算比約82万円の減となった。

3. 事業収入・支出について

イアブック2011の収入は予算比約21万円減、支出は予算比約12万円減であった。結果として実質収入については、約38万円(予算比約9万円の減)と、目標を達成できなかった。NPTブックレットの収入は、予算比約1.7万円減となった。講演・執筆収入は予算を下回り、約12万円減となった。一方、情報サービス・調査受託収入は、川崎市平和館の二つの受託を行ったことなどにより、予算比約70万円増となった。

以上を受けて、事業収支全体では、収入が予算比約8万円の減、支出は予算比約57万円の減であった。

4. 寄付金収入、助成金収入について

夏季、冬季、海外派遣カンパは、ほぼ目標額を達成したが、一般寄付は目標を達成できず、寄付金収入は予算比で約20万円減となった。予算化していた助成金50万円は獲得できなかった。

5. 管理費、予備費について

管理費全体としては、予算比で約302万円の減となった。賃金や旅費の支出が少なかったことが主な要因である。